

第11回全国連携実務者ネットワーク連絡会 2日間のふりかえり

❖ 進 行: 瀬尾利加子

NPO法人全国連携実務者ネットワーク理事
(株)瀬尾医療連携事務所 代表取締役

バズ・セッション

❖ 会議や演習に用いられる1手法。参加者を少人数にグループ(原則6名)に分けて、自由に討論させ、そこで得られた結論をグループの代表者が発表し、さらに参加や全体として討議を進める。というもの。バズとはハチのブンブンという羽音のこと。討論が活発に行われる様子を指している。

(株) 瀬尾医療連携事務所



このセッションの目的

学んだことや気づきを振り返り、相手と伝えあうことで、
自分に落とし込み、明日からの行動につなげる

講演は2つ

❖ **どんな人でも幸せになれる！**

～幸福学が切り開く未来～

▪ 講師 栗原志功氏

❖ **幸齢社会を支える**

地域連携とコミュニケーション

▪ 講師 秋山美紀氏

他プログラムは3つ

❖ パネルディスカッション

「連携室ならこう考える！ 診療報酬の改定の読み解き方」

❖ ワールドカフェ

「連携実務者のあれこれ」

❖ ショートレクチャー

「連携実務者が知っておきたい第7次医療計画」

セッション1 2人で伝えあう3分間

❖隣の人と**2人**で組む

❖2日間の連絡会で**学んだ事**や**気づき**を

伝えあいましょう

❖聞きたくても質問出来なかった疑問もOK

❖質問し合ったり、共感があったり・・・

セッション2 4人で伝えあう5分間

❖ 近くの組と4人組に

❖ 2日間の連絡会で学んだ事や気づきを

伝えあいましょう

❖ グループで一番の学びを決めましょう！

セッション3 全体共有

❖積極的な**立候補**を期待！

❖1グループ発表**2分**！



山形県初開催！

第4回 社会連携フォーラムin庄内

医療は地域とどのように連携すればいいのか
そのヒントがここに集結する

平成30年 9月8日（土）
13:00開演予定



写真提供：島貫隆夫（日本海総合病院院長）



講演

社会連携の仕組みと考え方（仮）

東北公益文科大学 准教授 鎌田剛

地域の医療・介護の仕組みづくりに、研究者・教育者の立場から貢献。
地域医療連携の研究、企業や福祉施設での実習教育に力を入れている。

シンポジウム

全国の先進的な社会連携事例

（予定演者）

- 山形県 からだ館 患者主体の活動
- 新潟県 企業×医療の取り組み
- 岡山県 わがまちプロジェクト
- 宮崎県 日南塾 他



第3回宮崎県日南市での開催の様子

会場 鶴岡市先端研究産業支援センター

（鶴岡メタポルームキャンパス）レクチャーホール

〒997-8601山形県鶴岡市馬場町9番25号 TEL 0235-25-2111(

医療連携

多職種連携

社会連携の聖地

山形県鶴岡市での開催！

皆様のお越しを

おまちしております

(株)